

## 講義のための話し方入門

### ■講師



小林 直人

(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室室長  
愛媛大学 医学部 総合医学教育センター長・教授)

昭和 63 年3月東京大学医学部医学科卒、博士(医学)。順天堂大学を経て、平成 10 年より愛媛大学医学部解剖学第一講座助教授、平成 17 年より愛媛大学医学部総合医学教育センター教授。平成 21 年度より教育・学生支援機構 副機構長および教育企画室長を兼任。医学教育関係のFD活動の他、本プログラムでも毎年講師を担当して

写真未掲載

飯島 永津子

(愛媛大学医学部教育協力者)

テレビ朝日系列民放局、NHK 松山放送局アナウンサーを経て、フリーアナウンサー。愛媛・香川でのカルチャースクール講師(マナー・ボイストレーニング)、BMI(ビジネスマナーインストラクター)認定講師として病院・企業の社員教育に携わる。平成 14 年より全日本作法会教授。平成 19 年度より愛媛大学医学部教育協力者として医学生の教育に携わる。

### ■プログラム概要

「良い」講義とはここでは、わかりやすく、知的な緊張感があり、学生が参加する(した気にさせる)講義をいいます。良い講義をするために気をつけておかなければならない話し方のコツを、実例や実習を通して習得することができます。

本プログラムでは、私が講義の時に気をつけている「どうしたらわかりやすい話し方ができるか」というコツや、講義で使わざるを得ない「発音が難しい言葉・聞き手に区別がしにくい言葉」について解説します。また、実例をもとに、話し方だけでなく、「何を話すべきなのか」「話さなくてもよいことはないのか」についても演習していきます。

さらに後半では、外部講師(愛媛大学医学部教育協力者)により、大きな声を出すためやはっきりと発音するための発声練習も行います。講義を受け持つようになって間もない教員の方はもちろん、自分の講義を振り返りたいと思われる方も是非受講ください。

### ■本プログラムの到達目標

1. 良い授業とは何かを説明できる。
2. 「学生中心の大学」の実現のために良い授業ができるようになる。
3. 講義をするときに教員として注意が必要な話し方のコツを習得し、自分の授業に生かすことができる。